

安全データシート

(表紙)

化学品及び会社情報

製品名

カーメックス®顆粒水和剤

販売会社名

丸和バイオケミカル株式会社

住所

東京都千代田区神田須田町二丁目 5 番 2 号

担当部門

開発本部 開発部

電話番号 / FAX

Tel: 03-5296-2313 Fax: 03-5296-2323

推奨用途及び使用上の制限

除草剤、農薬登録以外の使用は不可。

本製品に関するその他の情報については、次ページ以降の安全データシート(SDS)を参照してください。



カーメックス®顆粒水和剤

作成日：平成26年3月4日

整理番号：20140003

改訂日：平成26年4月8日

1. 製品及び会社情報

製品名	:	カーメックス®顆粒水和剤
会社名	:	アダマ・ジャパン株式会社
住所	:	東京都港区西新橋1-2-9 日比谷セントラルビル
電話番号	:	03-5532-7609
FAX番号	:	03-5532-7610
緊急連絡先	:	03-5532-7609
推奨用途及び使用上の制限		
推奨用途	:	除草剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入)	区分4
皮膚刺激性	区分外
眼刺激性	区分2B
皮膚感作性	区分外
発がん性	区分1A
特定標的臓器／全身毒性(反復ばく露)	区分3(気道刺激性)
特定標的臓器／全身毒性(反復ばく露)	区分2(血液)
水生環境急性有害性	区分1
水生環境慢性有害性	区分1

記載がないものは、分類できない、分類対象外または区分外。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語	:	危険
危険有害性情報	:	眼刺激 (H320) 吸入すると有害(粉じん) (H332) 呼吸器への刺激のおそれ (H335) 発がんのおそれ (H350) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(血液) (H373) 水生生物に非常に強い毒性 (H400) 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性 (H410)
注意書き	:	使用前に取扱説明書入手すること。(P201) 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202) 粉じんを吸入しないこと。(P260) 粉じんの吸入を避けること。(P261) 取扱い後は手足、顔、眼などよく洗うこと。(P264) 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271) 環境への放出を避けること。(P273)



カーメックス®顆粒水和剤

作成日：平成26年3月4日

整理番号：20140003

改訂日：平成26年4月8日

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。(P308+P313)
 気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)
 気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。(P314)
 眼の刺激が続く場合：医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313)
 漏出物を回収すること。(P391)
 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)
 施錠して保管すること。(P405)
 内容物／容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
 一般名 : DCMU顆粒水和剤
 別名 : MAH-1201顆粒水和剤

成分及び含有量

化学名	CAS番号	含有量	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素	330-54-1	80 %	(3)-2194	4-(13)-42
パリゴルスカイト	12174-11-7	<1%		
結晶性シリカ	14808-60-7	<0.19%		(1)-548
不活性成分		残量		

4. 応急措置

一般的アドバイス
 医師に問い合わせるときや治療に行くときは、製品の容器またはラベルを持っていくこと。

目に入った場合 : 目を開け多量の水で 15-20 分間洗う。
 医師に問合せ、治療のアドバイスを得る。

皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服を脱がせる。皮膚を直ちに多量の水で洗う。
 医師に問合せ、治療のアドバイスを得る。

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所へ移動する。必要に応じて酸素または人工呼吸。
 医師に問合せ、治療のアドバイスを得る。

飲み込んだ場合 : 口を多量の水でゆすぐ。
 意識不明の人には口から何も与えないこと。
 医師に問合せ、治療のアドバイスを得る。

最も重要な徴候及び症状 : 情報なし。

応急措置をする者の保護 : 適切な保護具を着用する(8項を参照)。

医師に対する特別な注意事項 : 対処療法及び支持療法



カーメックス®顆粒水和剤

作成日：平成26年3月4日
改訂日：平成26年4月8日

整理番号：20140003

5. 火災時の措置

- 消火剤 : (小規模の火災)乾燥消火剤、水スプレー、二酸化炭素 (CO₂)
(大規模の火災)泡、水噴霧、水スプレー
- 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水、(汚染のおそれ)
- 火災時の特有の危険有害性 : 火災時に発生する危険・有害分解物質。塩素化合物、炭素酸化物 (CO、CO₂)、窒素酸化物 (NO_x)
- 消火を行う者の保護 : 火災の場合は、自給式呼吸装置を着用する。保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 適切な保護衣、手袋、保護具(眼鏡・マスクなど)を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 物質が、下水、水路または低地域へ流入することを防止する。環境中へ流出する事を防止する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 砂などで流出物を吸着させて適切な容器に入れ、処分する。
- 二次災害の防止策 : 現地の規定に従い、処分する。回収したものの使用を避けるために、製品の容器に戻してはならない。可燃性の物質から遠ざける。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 換気を実施おこなう。
- 局所排気・全体換気 : 情報なし
- 注意事項 : 情報なし
- 安全取扱注意事項 : 熱及び着火源から遠ざけること。粉塵の発生を避ける。

保管

- 安全な保管条件 : 遮光し、食料品、飲料および飼料から遠ざけ、子供やペットが近づけない換気された場所に、元の容器のみに保存する。
- 安全な容器包装材料 : 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 適切な換気装置のみを使用する。

管理濃度 - 許容濃度

化学名	許容濃度		法令基準等
3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素 結晶質シリカ	TWA	10 mg/ m ³	ACGIH (2009)
	TWA	0.025mg/m ³	ACGIH (2010)

保護具

- 呼吸用保護具 : 十分な換気がされた通常の条件では特に呼吸用保護具は推奨されない。



カーメックス®顆粒水和剤

作成日：平成26年3月4日

整理番号：20140003

改訂日：平成26年4月8日

手の保護具	:	保護手袋
目の保護具	:	この物質との接触を避けるため保護用眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	:	手袋、長靴などの保護衣を必要に応じて着用すること。
適切な衛生対策	:	皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。取扱後によく洗う。 取扱後および飲食、ガム、タバコの使用前、またはトイレ使用前には、石鹸と水でよく手を洗う。ダストの呼吸を避ける。

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状态、形状、色など)

物質の状態	:	個体
形状	:	固体
色	:	オフホワイト
臭い	:	微かな臭気
臭いの閾値	:	データなし
pH	:	データなし

融点/凝固点

融点/範囲	:	この混合物に関しては得られていない。
-------	---	--------------------

沸点、初留点と沸騰範囲

: データなし

引火点	:	データなし
蒸発速度	:	データなし

爆発特性

爆発上限	:	データなし
爆発下限	:	データなし

蒸気圧	:	データなし
蒸気密度	:	データなし
比重	:	データなし
密度	:	0.6 - 0.64 [g/ml]

溶解性

水溶性	:	分散する
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール/水分配係数	:	データなし
自然発火温度	:	データなし
分解温度	:	この混合物に関しては得られていない。
粘度	:	データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	:	常温及び通常の保存条件下で安定である。
危険有害反応可能性	:	情報なし
避けるべき条件	:	酸化剤、酸、アルカリを避けること。
混触危険物質	:	情報なし
危険有害な分解生成物	:	塩素化合物、炭素酸化物 (CO、CO ₂)、窒素酸化物 (NO _x)



カーメックス®顆粒水和剤

作成日：平成26年3月4日

整理番号：20140003

改訂日：平成26年4月8日

その他：情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	:	(ラット)経口 LD ₅₀ >2000mg/kg、区分外 (ラット)経皮 LD ₅₀ >5000mg/kg、区分外 (ラット)吸入(ダスト) LC ₅₀ >2.03mg/L、区分4
皮膚腐食性及び刺激性	:	(ウサギ)刺激なし。区分外。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	:	(ウサギ)中程度の刺激性、区分2B
呼吸器感作性又は皮膚感作性	:	(モルモット)陰性(Buehler法)皮膚感作性なし。区分外。
生殖細胞変異原性	:	分類できない。 (3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素)は区分外。結晶性シリカは区分外)
発がん性	:	区分1Aに分類されるシリカをカットオフ値の0.1%以上含有することから区分1Aとした。 (3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素は区分外)
生殖毒性	:	分類できない。 (3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素は区分外)
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	:	区分3(気道刺激性)に分類される3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素をカットオフ値の20%以上含むことから区分3とした。
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	:	区分2(血液)に分類される(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素をカットオフ値の10%以上含むことから区分2とした。
吸引性呼吸器有害性	:	分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性	:	LC ₅₀ /96 h/コイ : 137 mg/L、区分外 EC ₅₀ /48h/オオミジンコ : 1.26 mg/L、区分2 E _c C ₅₀ /72h/緑藻 : 0.0280 mg/L、区分1 以上の結果から急性水生環境有害性を区分1とした。
その他	:	慢性水生環境有害性：区分1に分類される(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素をカットオフ値の25%以上含むため区分1とした。 未知毒性量：20%。
残留性・分解性	:	データなし
生体蓄積性	:	データなし
土壤中の移動性	:	データなし
オゾン層への有害性	:	データなし
他の有害影響	:	環境の予防措置に関する、取り扱いの追加説明は製品ラベルを参照する。

13. 廃棄上の注意

廃棄の適用法令	:	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(施行令第6条)に従って廃棄する。 処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た一般(或いは、特別管理)産業廃棄物業者と契約を結んだ上、処理を委託する。
残余廃棄物	:	国及び地方自治体による規制に従う。



カーメックス®顆粒水和剤

作成日：平成26年3月4日

整理番号：20140003

改訂日：平成26年4月8日

汚染容器及び包装 : この製品が、排水や水路、地面に流れ込まないように留意する。
空き容器を廃棄処理する場合は、内容物を完全に除去し、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(施行令第6条)に従って廃棄する。空の容器を再使用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

IMDG

国連番号 : 3077
品名 (Proper shipping name) : Environmentally hazardous substance, solid, n.o.s. (Diuron)
クラス : 9
容器等級 (PG) : III
海洋汚染物質 : 該当
国連分類 : 9
国連番号 : 3077 (Environmentally hazardous substance, solid, n.o.s.)
国内規制 : 船舶安全法
航空法
追加の規制 : 情報なし
輸送の特定の安全対策及び条件 : IATAの危険有害物質として規制されない。
IATA特別規定A97により、分類されることがある。
応急措置指針番号 : 171

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物: 3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素(249)、シリカ(312)
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) : 第1種指定化学物質:3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素(169)
農薬取締法 : カーメックス顆粒水和剤(登録第23433号)

16. その他の情報

引用文献 : アガン・ケミカル・マニュファクチャラーズ社MSDS
(独法)製品評価技術基盤機構 化学物質総合検索システム
JIS 7252:2019, JIS 7253:2012
その他 : ラベルに記載された使用方法に注意する。
®はイスラエル国アダマ・アグリカルチュラル・ソリューションズ・グループの登録商標です。

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。上記の情報はいかなる保証をするものでもありませんし、品質を特定するものでもありません。また、このMSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、別な物質へ変化させたり、処理したり、あるいは指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせには有効ではありません。